

第 92 回日本産業衛生学会学術総会の会期中、5 月 25 日に産業医フォーラムを開催しました。今回は「産業医の勧告権に関するシンポジウム」と称して、シンポジストの先生方から各々のテーマでご登壇いただきました。立ち見も出るほどの盛況ぶりで、部会員の皆さんも非常に興味をお持ちである事が伺えました。

堀江正知先生（産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健管理学）からは、法改正に関する解説と勧告に関する部会員へのアンケート調査の結果について、ユーモアを交えながら分かりやすくご紹介頂きました。伊藤正人先生（パナソニック健康保険組合 健康管理センター）からは統括産業医として様々な産業保健体制が混在する企業グループを取りまとめる立場から、服部真先生（(公社)石川勤医協 城北病院 健康支援センター）からは嘱託産業医として活動されていた経験を通じて、今回の勧告権強化に関する意見と対応についてお話しして頂きました。東泰弘様（富士通(株)）からは、産業医の意見・指導や勧告に対応する事業者のお立場として、産業医との協働にあたり期待する事柄についてお話しして頂きました。森口次郎先生（一般財団法人京都工場保健会）からは指定発言として、学会の政策法制度委員会から出された「産業医の権限強化に関する答申」について解説して頂きました。討議では勧告の持つ機微な面を感じさせる話題で盛り上がりました。

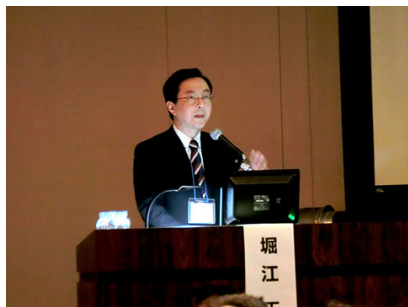
詳細は後日発行される産業医部会報第 67 号を御覧下さい。



座長の遠田和彦・西條泰明先生



会場の様子



堀江正知先生



伊藤正人先生



服部真先生



東泰弘様



森口次郎先生